

年頭の ごあいさつ

幌延町長
宮 本 明



新年あけましておめでとうございます。

町民皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年十一月に行われました幌延町長選挙におきましては、町民皆様のあたたかいご支援をいただき、三期目の町政を担わせていただくことになりました。前二期に引き続き、元気な幌延町を築いていくため、議会をはじめ町職員と共にまい進してまいりますので、皆様のご理解、ご協力をよろしく願います。

顧みますれば、ここ数年のわが国は世界的恐慌による長引く不況、自由民主党から民主党への政権交代、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への参加協議など、先行き不透明で厳しい状況が続いています。

しかし、そういう中でも幌延町においては、

生涯学習センターや町立診療所の建設、町道のバリアフリー化、各学校への太陽光発電整備といった社会資本整備を行ってきました。今後は、さらにソフト面での暮らしやすい安全・安心の、まちづくりを進めてまいります。

深地層研究関係では、国際交流施設、地層処分実規模試験施設のオープンなどにより、町内を訪れる見学者、研究者などが増えてきております。また、深地層研究センターの地下施設についても、地下二五〇m地点で水平坑道が掘削され、順調に研究が進められています。地圏環境研究所や各種研究機関との共同研究も行われており、わが町から日本中、そして世界に最先端技術の発信がなされていくものと期待をしています。

昨年、幌延町は町制施行五十周年を迎えました。また、北海道の行政所管区域が留萌から宗谷へと移管しました。これを記念し、さまざまな記念事業を行ってきたところですが、町民皆様におかれましては、記念協賛事業として環境整備、スポーツ等を通じた地域交流イベントなどを開催していただきましたことに、厚くお礼申し上げます。町としても、これを契機として「幌延町民憲章」の制定、記念DVDの製作といった事業を展開しております。記念DVDにつきましては、四月頃には皆様にもご鑑賞いただけると思います。

また、昨年は五年に一度の国勢調査の年でもありました。まだ集計は出ていませんが、人口は相変わらず減少を続けています。とは

いえ、深地層研究関連の事業などにより、減少率はあまり大きくならずすむのではないかと期待しているところであります。

今年、稚内市と「定住自立圏の形成に関する協定」を結び、町民の皆様がより快適な生活をおくることができるよう、さまざまな分野で連携してまいります。詳しい事業を盛り込んだビジョンについては、中心市である稚内市が策定することになっていますが、町としても稚内市と一緒に知恵を絞ってまいります。

幌延町の更なる発展のためには、町民の皆様が安心と生きがいをもって、わが町で活き活きと暮らし続けることが必要です。町の基幹産業である酪農の担い手対策、商店街の活性化、民営化となる北星園の支援、生涯学習・生涯スポーツの推進、住環境の整備といったことを、町民皆様のご協力をいただきながら進めて行くとともに、情報化の進む現代社会に遅れをとらないよう全戸に導入する双方向告知システムを活用して、行政がもっている情報の迅速で確実な伝達を行ってまいります。郷土幌延町を愛する気持ちを共有しながら、私が目指す「さらに元気な幌延町づくり」のため、お力をお貸しください。

新しい年が幌延町と町民皆様にとって、幸多い一年でありますことを心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

平成二十三年元旦